令和元年度石見銀山基金事業報告

公益社団法人 石見大田法人会

【事業名称】アニメでわかる石見銀山
【事業実施内容】

１．大田市教育委員会へアニメDVDの寄贈とチラシ提供

大田市教育委員会寄贈の様子

大田市役所にて、大田市教育委員長船木様、川島様、（公社）石見大田法人会 小川会長、林が参加し「アニメでわかる石見銀山」DVD（50枚）を寄贈。広報用チラシ500部を提供し、大田市内各施設（大田市内学校、石見銀山世界遺産センター、図書館等）への配布依頼。
当日、石見銀山テレビ放送、島根日日新聞、中国新聞社、山陰中央新報社から取材を受けた。石見銀山テレビ放送では寄贈の様子が放映された。

広報用チラシ（大田市内各施設への配布依頼）

実施日　令和２年５月１９日（火）

２．大田市広報おおだに掲載

石見銀山を楽しく学んでほしい

石見法人会がアニメを制作

小川会長（右）らがアニメーションの制作趣旨を説明

こちらからアニメをご覧になれます

このほど、子どもたちに石見銀山を楽しく学んでもらおうと公益社団法人石見大田法人会（会長／小川良知）がアニメーションを制作しました。5月19日、小川会長らが市役所を訪れ、教育長にDVDを手渡しました。

制作には市内の専門家のほか、声優として市内の高校生が参加。また、随所に大田の風景が登場します。

船木教育長は「面白く、石見銀山をもっと知りたいと興味がわく内容。授業で活用したい」とお礼を述べました。

大田市広報おおだ 令和２年６月号に掲載。

掲載日　令和２年６月１５日（月）

３．NHK松江放送局にて放映

https://www.facebook.com/loveiwami/videos/184821409484073/

（石見のできごとFaceBook参照）

NHK松江放送局は５月８日（金）に取材を受け地域ニュースにて放映。

放映日　令和２年５月１１日（月）

４．Youtubeによる「アニメでわかる石見銀山」の発信

４月２日～Youtubeにて配信開始、６月２４日までの５話分の合計閲覧数は、１,２５６名。

実施日　令和２年４月２日（木）～

５．アニメーション制作会議

アニメーション制作会議の様子
専門家（石見銀山資料館、三瓶自然館）、教育機関（学校、交流の家）、大田市石見銀山課、大田市教育委員会魅力化コーディネーター、大田市内企業（アニメ制作会社）の方々にご参加いただき、各方面からニーズやアドバイスを頂いた。

開催場所　大田商工会議所

開催日
第１回アニメ制作会議　2019年 5月24日 18時～19時30分
第２回アニメ制作会議　2019年 6月26日 18時～19時
第３回アニメ制作会議　2019年10月18日 18時30分～19時30分
第４回アニメ制作会議　2019年11月12日 18時30分～20時
第５回アニメ制作会議　2019年12月10日 18時30分～20時

【事業実施効果】
　完成したアニメに対する評価は、石見銀山の事が分かりやすい知らないことがたくさんあった、地元の大人も見るべき、石見銀山の貴重さが分かった、石見銀山以外にも映像の地域学習のコンテンツとしてして可能性を感じる等、予想以上の反響を頂いた。
　アニメーション制作会議に参加頂いた方から、他分野の方が集まり意見を出し合う事で、違った目線で教材を作成できるので有意義な会議だとの声を頂いた。活発なご意見がシナリオに反映出来た結果がアニメを見た方の評価に繋がっていると感じた。制作サイドが楽しみながら創り上げる大切さ、自由な発想で共に創り上げる教材コンテンツの必要性は、石見銀山学習の教材以外にも発展する可能性を感じる。
　制作会議中に、地元高校生に声優をお願いしてみてはとのご意見を頂き、大田高校、邇摩高校の生徒さんに募集をかけたところ予想以上の希望者があり、希望者１０名全員声優として参加して頂いた。声優としての演技力の高さに驚き、また地元高校生の石見銀山への関心の高さを伺えた。高校生がアニメ制作に携わる事で、アニメ制作の仕事や石見銀山へのさらなる関心そして、郷土愛が深まればと思う。
　アニメ制作会議で、完成後の活用方法の案として、市内小学校で模擬授業を行い、どのように活用していくのかを協議しながら授業内容を改良し、大田市教育委員会教育魅力化コーディネーターの協力を得て、市内各担当教員に使用方法を伝えていく計画をした。しかし、新型コロナの影響により計画が実現できなくなった。終息後に再度授業の開催をお願いして計画を実行していく予定にしている。
　完成したアニメの成果物の活用方法は、今後の課題となった。具体的な活用方法を計画し、多方面の協力を得ながら進めていく必要がある。
　大田市の広報誌や石見銀山テレビ放送のニュースを見て、アニメを見たとの声をいただき、Youtubeへの掲載は有益であった。より多くの方に閲覧してもらえために、継続した広報が必要だと感じる。大田市以外の方に閲覧してもらうために、大田市出身者が集まる市人会や大田市出身者向け広報誌などにチラシの配布を検討する。他地域への情報発信方法として、石見銀山テレビ放送が他地域と連携し番組を提供してあっているので、大田市を紹介する番組内で石見銀山を通じて「アニメでわかる石見銀山」を紹介してもらう事も検討していく。